

アジア太平洋都市サミット (APCS) 通信 2011年 第13号 【2011年 鹿児島実務者会議 特集号】

アジア太平洋都市サミット：Asian Pacific City Summit (APCS) は、1994年に福岡市の提唱によって設立された国際都市ネットワークです。「アジア太平洋の都市の連携とネットワークの構築」を目指し、1994年から隔年でアジア太平洋地域の首長が一堂に会す国際会議を開催しており、現在の会員都市は13か国29都市です。

鹿児島実務者会議を開催しました

第9回アジア太平洋都市サミット鹿児島実務者会議を、8月19～20日に日本国鹿児島市で開催し、7カ国18都市の代表、総勢70名が参加しました。

鹿児島市は日本の南部、活火山のある世界的にも数少ない都市で、年間約900万人が訪れる観光都市です。また、日本の近代工業化発祥の地であり、3月の九州新幹線の開通により、日本列島2100キロにわたる高速鉄道網の南端となり、今後ますます発展が期待されています。

鹿児島市での会議について報告します。



参加者の集合写真

<http://www.urc.or.jp/summit/practical/2011.html>



鹿児島市長より開会の挨拶



各都市が取り組んでいる先進的な環境への取組みが披露された



基調講演「21世紀の街づくり」
国連環境計画 末吉竹二郎氏



国連ハビタット福岡本部
星野幸代本部長補佐官あいさつ
(開発途上国の復興支援)



環境に関心のある市民120人も熱心に発表を聞いた



【鹿児島市発表】
鹿児島市のゴミ行政について



【バンコク都（タイ）発表】
バンコク都の持続可能な発展（世界
経済危機下における新たな都市政策）



【釜山広域市（韓国）発表】
気候変化への対応推進政策



【長沙市（中国）発表】
持続的発展をめざした環境への取
り組み—長沙市の環境保護と生態
建設



【福岡市（日本）発表】
福岡市における下水道資源の有効
利用と国際貢献について



【光陽市（韓国）発表】
地域社会の協力による環境保全と環
境改善



【イポー市（マレーシア）発表】
下水道管理における環境衛生面
での挑戦



【鹿児島大学・デポック市（インドネ
シア）共同発表】
連帯による「持続可能なエネルギー
教育」



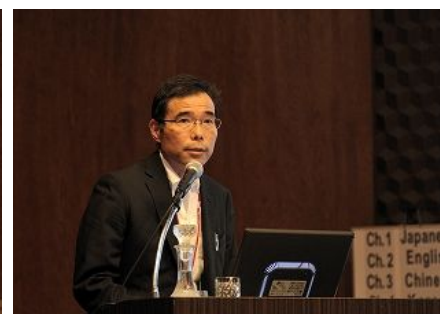
【北九州市（日本）発表】
持続可能な社会に向けた環境モデ
ル都市・北九州市の取り組み



【熊本市（日本）発表】
熊本の持続的な地下水保全



【ウラジオストク市（ロシア）発表】
ウラジオストク市における環境
への取り組み



【特別発表 福島県いわき市】
東日本大震災について

8月19日

鹿児島市の象徴、活火山桜島を眺望できる会場で始まった会議では、「みんなであつなく 人と地球にやさしいまちづくり」をテーマとし、国連環境計画の金融イニシアチブ特別顧問 末吉竹二郎氏から21世紀の街づくりで取り組むべき課題について基調講演を、国連ハビタット福岡本部の星野幸代本部長補佐官から開発途上国における復興支援活動の報告がありました。

続いて、参加都市から廃棄物管理、温室効果ガス削減や低炭素型都市づくりなどについて、各都市が取り組んでいる先進的な事例の発表がありました。また、東日本大震災の報告を福島県いわき市から受け、震災後の自治体の対応について考える機会となりました。

これらの発表を踏まえ、実務者会議では初めての共同声明を発表しました。参加都市が環境について考え、人と地球にやさしいまちづくりに貢献するとともに、被災地の復興に最大限の支援を行っていくことを、「かごしま共同声明」として、2012年の浦項サミット（韓国）に引き継いでいきます。

会議後は、地元のテレビ、新聞などのメディアへの記者会見を行い、九州各県の新聞などが報道しました。



共同記者会見



会場入口に設置された各都市紹介の写真展示

かごしま共同声明

2011年8月19日 鹿児島市において開催された「第9回アジア太平洋都市サミット実務者会議」を受け、次のとおり共同声明を発表する。

- 1 私たちは今回の会議の中で発表や意見交換がなされた、アジア太平洋地域における低炭素社会、自然共生社会、循環型社会の構築に向けた取り組みに賛同し、地方自治体として「人と地球にやさしいまちづくり」に貢献する決意である。
- 2 この会議では、各都市での廃棄物処理や大気汚染対策などの専門分野の先進的な取り組みについて、理解を深めることができた。
また、次世代を担う青少年達と共に地球の環境について学び合い、できる限りの対応をしていくことが、地球と共に生きていくことにつながることを深く認識することもできた。
- 3 そのため、今後各都市ができることを強化するとともに、この会議で発表された先進的な取り組みを相互に教え合うなど、連携して環境を守る活動に取り組むこととする。
また、環境に関してさらに効果的な取り組みを行うためには、国境を超え、都市が連携して取り組むことが重要であり、来年7月28～30日に韓国浦項市で開催される第10回アジア太平洋都市サミットにおいては、会員都市が連携した取り組みに対して、市長間の実り多い意見交換を希望する。
- 4 東日本大震災では多くの尊い命が犠牲になり、また現在でもなお多くの人々が困難な状況の中で、復興のための苦難に立ち向かっている。私たちは、今回の地震や津波で亡くなられた方々に哀悼の意を表明するとともに、被災された多くの方々に心よりお見舞いの意を表明する。

また、一日も早い復興へ最大限の協力を行うため、本サミットのネットワークを活用し、被災地に関する正確な情報を共有し、発信することに尽力するとともに、被災地の復興に向けた取り組みに対して最大限の支援を行っていくこととする。

5. この発表の内容は第9回鹿児島実務者会議での合意事項として、来年の第10回アジア太平洋都市サミットに引き継ぐ。

2011年8月19日
日本国 鹿児島市において

8月20日



北部清掃工場では施設についての説明を受けた

会議2日目は、鹿児島市の環境関係施設の視察などでした。最新技術による公害防止対策を施した循環型施設である「北部清掃工場」や環境学習・リサイクル拠点施設の「かごしま環境未来館」の視察、空き缶を再生利用した作品作りに取り組む、鹿児島大学・市内高校生との交流会など、鹿児島市の環境関連施策等を直接体験し、考える大変貴重な機会となりました。参加都市の代表者たちは、今後の各都市の施策の参考になるとロケに話していました。



廃棄物処理工程を熱心に見学する参加者



かごしま環境未来館での施設説明



工夫を凝らした展示物に見入る海外からの参加者



鹿児島大学・高校生から空き缶で作ったオブジェの説明を受ける

今後のアジア太平洋都市サミット開催予定



次期(2012年)市長会議開催都市の浦項市



2013年市長会議開催都市の熊本市

アジア太平洋都市サミットの今後の開催は、2012年は韓国浦項市でアジア太平洋都市サミット（市長会議）、2013年は日本国熊本市でアジア太平洋都市サミット（市長会議）を予定しております。

【浦項市HP <http://www.urc.or.jp/summit/city/korea/pohang/index.html>】

【熊本市HP <http://www.urc.or.jp/summit/city/japan/kumamoto/>】

アジア太平洋都市サミット(APCS)会員都市

●海外(20都市)オークランド市(ニュージーランド)、バンコク市(タイ王国)、ブリスベン市(オーストラリア)、釜山広域市(大韓民国)、大連市(中華人民共和国)、広州市(中華人民共和国)、光陽市(大韓民国)、ホーチミン市(ベトナム社会主義共和国)、香港特別行政区政府(中華人民共和国)、ホノルル市(アメリカ合衆国)、イポー市(マレーシア)、ジャカルタ特別市(インドネシア共和国)、済州特別自治道(大韓民国)、クアラルンプール市(マレーシア)、マニラ市(フィリピン共和国)、浦項市(大韓民国)、上海市(中華人民共和国)、シンガポール、ウルムチ市(中華人民共和国)、ウラジオストク市(ロシア連邦) ●日本国内(9都市)鹿児島市、北九州市、熊本市、宮崎市、長崎市、那覇市、大分市、佐賀市、福岡市

【編集・発行】アジア太平洋都市サミット事務局

(財)福岡アジア都市研究所

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6階

電話:092-733-5687 FAX:092-733-5680 URL:www.urc.or.jp/summit/

E-mail: ichiba@urc.or.jp ozeki@urc.or.jp

2011年12月